

影響ないが12週以降に

お口の



使ったデジタルエックス線撮影を導入している歯科医院も多くあります。フィルムを使ったエックス線撮影でもリスクは無視できるほど小さいのですが、デジタル撮影ではさらに2分の1〜4分の1程度はエックス線の量を減らすことができます。

【答え】妊娠2〜8週はエックス線に対する感受性が最も高く、エックス線検査が必要なときは、念のため、12週以降に行うのが理想的です。しかし、歯のエックス線検査では胎児に障害を起こすことはないといえるでしょう。

デンタルエックス線という歯のエックス線1枚で0・01ミリシーベルト以下、顔全体のパノラマエックス線で0・03ミリシーベルト以下です。ちなみに東京、ニューヨーク間を飛行機で往復したときの自然放射線量が0・2ミリシーベルトであることから、安全性に問題はないといえるでしょう。むしろ胎児には、黄体ホルモンや抗ヒスタミン剤、タイオキシシンなどの方が危険です。

最近ではコンピューターを
妊娠前にすでに歯周病に罹患して、悪化してしまうこともあります。妊娠しているかどうかにかかわらず、お口の管理はとても大切です。かかりつけ歯科医を受診し、専門的ケアを受けることをお勧めします。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

妊娠中のエックス線検査

回答者

筒井 華世

佐世保市三浦町
つつい歯科医院院長



【問い】右下の奥歯に穴が開いて放置していたら、最近かなり痛くなってきました。妊娠3カ月なのですが、エックス線写真を撮っても大丈夫なのでしょうか？ 胎児に影響はないのでしょうか。(佐世保市、28歳女性)